

パッチワーク教室

温かみのあるハンドメイドと一緒にチャレンジしませんか？



パッチワーク教室のみなさん

パッチワーク教室は、平成8年から文化連盟の一員として、中央公民館で11人のメンバーが、ぬいぐるみなどの小物から、ベッドカバーのような大作まで、様々なものをパッチワークの技法を学びながら作成されています。

パッチワークとは、布片を縫い合わせて1枚の大きな布を作る手芸で、様々なパターンで縫われた布からは、世界に一つだけの温かみのある作品が生み出されます。

教室の代表で先生も務める久保山春代さん（南多久町）は「教室のみなさんから元気をもらいながら続けています。初心者から上級者までどなたでも、楽しく参加できます」と活動について話しました。

サークルのみなさんは「みなさんと話しながら作るのは楽しい。ストレス解消になる。指先を動かすのでボケ防止になります」とパッチワークの楽しさを話しました。

活動は、中央公民館和室で第1・3火曜日の10時～12時30分まで行っています。市内外を問わず誰でも入会できます。楽しくお話をしながら一緒にパッチワークで作りませんか？ぜひ見学に来てください。



▲活動風景

問 代表 久保山春代 ☎75-4066

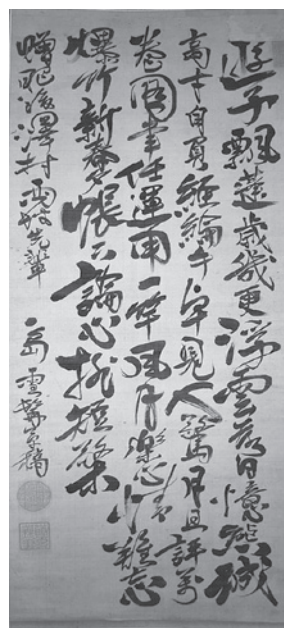
ふ・れ・あ・い・ひ・ろ

●連載33● 郷土資料館で学ぶ多久の歴史
幕末・維新时期 佐賀・多久の賢人①島義勇

郷土資料館では、ただいまミニ企画展示「幕末・維新时期 佐賀・多久の賢人」を行っています。今月は、この展示の中から島義勇の作品を紹介します。

「佐賀の七賢人」のひとりにも数えられる島義勇は、文政5年(1822)、佐賀城下精小路に生まれました。藩校弘道館で学んだ後、藩主の命で北海道や樺太を探検、明治新政府では北海道開拓使判官となり、札幌のまちづくりに尽力しましたが、明治7年(1874)佐賀戦争(佐賀の乱)の首謀者のひとりとして処刑され、非業の死をとげました。

今回展示している作品は、島が熊本の儒学者沢村西陂にあてて書いた漢詩で、西陂の人柄を讃えています。



◀島義勇 四行書

多久市郷土資料館・歴史民俗資料館・先覚者資料館

開館時間 / 9時～16時 入館料 / 無料

休館日 / 月曜日(月曜日が休日の場合は開館し翌火曜休館)

■問い合わせ 多久市郷土資料館 ☎75-3002

短歌

《表の芽短歌会 互選》

われ送る 母をミラーに 捕らへし日

偲びてをりぬ 吾もその歳

本村 則子

この日頃あれもこれもとあせがれど

なし得ぬまゝに夕暮れせまる

福島那智子

萬作の 一步踏み出す 狂言の

舞台は一瞬一人の世界

田淵ミチ子

漆黒の 宇宙を走る ステーション

地球はあらそいの海に見ゆるや

浦野 嘉恵

手をつなぎ 曲阜城門に 立つ写真

伸ばして 久々の 彼に渡しぬ

尾形 節子

俳句

《俳句 楷樹句会 互選》

想い出が 何かちぐはぐ 年暮るる

あの友の 喪中葉書や 冬北斗

森山 抱石

冬の朝 寢床で 体操グーチョ

キパー 納富 芦風

冬日中 ほどよきほどの つるし柿

野田キヌ子

そそくさと 園児迎えや 暮早し

田中久美子

川柳

《多久市川柳会 互選》

母の待つ 帰省ラッシュ 苦にならず

締め括ることが出来ない 恋がある

高塚チカ子

盛り上がる そこで締めます 名幹事

井上 東子

ご破算で 願いましては 除夜の鐘

大谷 和

新年の 決意集めて 初日の出

松下 修

西山 残月

市民文芸

